



2013 年 10 月 4 日

各 位

会社名 テルモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 新宅 祐太郎
(東証第一部 コード番号：4543)
問合せ先 広報室長 丸田 正行
(TEL. 03-6742-8550)

テルモ、米国の先端医療機器ベンチャーファンドに出資

テルモ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 新宅 祐太郎）は、米国のベンチャーキャピタルファンドである **Emergent Medical Partners II L.P.**（以下、**EMP-II**）に同ファンドにおける最大出資となる上限 25 百万ドルまでの出資を決定しました。

EMP-II は、医療機器・ヘルスケアベンチャーを中心に投資をするアーリーステージ・ベンチャーファンドです。**EMP-II** の投資マネージャーは、発明家であり、心臓血管領域で著名な医師であるトーマス・フォガティ氏と医療機器のベンチャーコミュニティで活躍中の弁護士であるロバート・ブラウネル氏です。**EMP-II** の強みは、フォガティ氏の持つ強力なネットワークを活かして、投資先の発掘や育成において、医師、規制当局、各領域の専門エンジニアおよび起業家などの支援を受けられることです。

欧米の大手医療機器メーカーでも、このようなベンチャーファンドへの出資を通じた新技術の獲得は開発戦略の柱のひとつとなっており、当社も **EMP-II** への出資により、米国のベンチャーコミュニティに集まる最新の技術的知見を獲得できると期待しています。また、**EMP-II** のオフィスにインターンを派遣することにより、「目利き」能力の向上も期待できると見込んでいます。

フォガティ氏によれば、米国の医療機器分野では薬剤溶出型ステント（**DES**）、経カテーテル大動脈弁留置術（**TAVI**）、腎除神経カテーテル術（**RSD**）などのブームの後、ベンチャー資金は大幅に縮小したものの、新しいアイデアの質と量は決して落ちていないとのこと。当社は、今回の出資を機に内部開発・外部開発ともにアーリーステージからの開発体制を構築し、将来ポートフォリオを幅広く探索して行きたいと考えています。

<トーマス・フォガティ氏：Thomas J. Fogarty, M.D.>

フォガティ氏は、世界的に有名な心臓外科医であり、発明家、起業家、そして投資家です。同氏は、技術的なイノベーションだけでなく、事業開発の分野においても多大なる功績を残しており、同氏が創業者となった、または取締役等を務めた医療機器メーカーは 30 社以上にのぼります。同氏は、筆頭・共著含め、これまでに 180 件以上の論文を執筆するとともに、125 件以上の特許を出願しています。これらの特許の中には、現在、業界標準となっているフォガティ・バルーン血栓除去カテーテル^(※)などがあります。

(※) フォガティ氏によって開発された血栓除去術の最も基本的な治療デバイスで、動脈内にカテーテルを挿入し、血栓物質（血栓）の遠位でバルーンを膨張させて血栓とともに引き出すために使用する。

以 上

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。